

## システム導入促進講座（DXセミナー）の開催趣旨

皆さんはDXと聞くと、どんなイメージを持たれるでしょうか。先ず思い浮かぶのは、スマホやLINE等のアプリ、AI、カメラの活用、オンライン会議等の最新のデジタル技術で作られた様々なツールとネット活用のイメージではないでしょうか。それらを顧客サービスや社内業務に取り入れれば、より便利に、効率化できると一般的に思われています。

一方で、DXは「デジタルによる変革」と表現され、「デジタル」よりも「変革」に力点が置かれているんだ、とも言われます。

この講座では、この辺りから入り、大きく3つの特長を持たせています。1つは「豊富な事例」、2つ目は「DXの進め方」、そして3つめは「個別相談」（研修の中で行う個別サポートのことです）になります。

先ず、「豊富な事例」では、DXを進める上で、ツールを入れるだけで効果が出るケース、いやいや、そうではなくてしっかりと根本から事業や業務を見直さないといけない（変革の）ケース、その両方について、様々な業種、業態の事例を基にわかりやすくお話しします。

次に、「DXの進め方」ですが、上記のいずれのケースでも一番大切なことは、会社がどこに向かっていて、会社にとって外せない最も重要なことは何か、まずそれらをはっきりさせ、全社で共有することです。もう少し堅く言えば、次のようになります。

「DXを推進するためには、経営トップが自ら変革を主導し全社横断で組織的に取組むことが必要となってくる。そのためには経営戦略と整合したDX戦略を策定し、推進していくことが有効である。」（独立行政法人 情報処理推進機構「DX白書2021」第1章DXへの取組み状況①はじめに」より引用）

この外せない最も重要なこと（経営戦略）から、どこに、どのような最新技術や既存の枯れたIT（システム）を、どのように、どんな順番（スケジュール）で入れるのがよいか（DX戦略）を明確にし、全社で共有した上で、それをIT導入の企画に展開していく、その検討プロセスをご参加いただいた皆さまにお伝えしていきます。

そして「個別相談」とは、本講座を構成する2コースを通して研修の中で行う個別サポートのことです。参加者間でグループ討論を行うのではなく、皆さんお一人お一人が自社の経営戦略、DX戦略（IT企画）を作っていただき、それを3名のインストラクターがサポート、助言させていただくスタイルとなります。もちろん、参加者間で情報交換をすることも可能です。

本講座は、2コースから構成されています。「基礎」コースは半日で経営戦略まで、「実践」コースは基礎よりも時間をかけて（半日×2回）、自社の経営戦略とDX戦略（IT企画）をつくっていただきます。多少ハードルは上がりますが、その分、我々インストラクターが文字通り個別にサポートし、加えて現場業務の見直し（変革⇒一般的にBPRと呼ばれています）が必要なケースについて事例を基にしたお話しをいたします。

DX社内研修としてお考えいただき、お一人でも多くの企業の経営者、そして現場キーマンの方々にご参加いただきたい所存です。

以 上